

取扱説明書

改訂版③

2分割刈払機

HG-BC260

混合燃料
25 : 1

上記以外や 25 : 1 ~ 50 : 1 のような
幅を持たせた混合燃料使用不可

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、
内容を理解してからお使いください。



このQRコードを
読み取ることで、
本製品の組立て、操作方法
などを動画で
ご覧いただけます。



目次

はじめに	3	長期間使用しない時	22
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために		本機を2週間以上使用しない時	22
安全にお使いいただくために	4	故障と思ったら	23
2分割刈払機に係る安全事項	4	消耗品一覧・ご注文	25
2分割刈払機の作業に係る事項	5	保証内容について	27
安全ラベル	6	お客様ご相談窓口	28
主要諸元	7		
振動障害の防止	7		
各部の名称	8		
梱包部品一覧表	9		
組立て	10		
ハンドルの取付け	10		
刈刃の取付け	11		
飛散防止カバーの取付け	12		
メインパイプの接続	12		
メインパイプの取外し	13		
肩掛けストラップの取付け	13		
運転前の点検	14		
混合燃料 25:1 の作り方	14		
燃料の点検・補充	15		
刈刃の点検・交換	15		
運転操作の仕方	16		
エンジンのかけ方	16		
エンジンの止め方	17		
刈払作業の仕方	18		
作業手順	18		
点検整備・清掃の仕方	19		
エアクリーナー	19		
点火プラグの点検	19		
ギヤケース	20		
刈刃	20		
アイドルリングの調整	20		
シャフト	21		
コネクタ	21		

はじめに

このたびは2分割刈払機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

2分割刈払機に係る安全事項

警告

禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。

指示

- ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・刈刃の取付けは確実に行ってください。
- ・必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・始動前点検を実施してください。
- ・使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・部品交換は、純正部品を使用してください。
- ・本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止のしかたを覚えてください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

注意

指示

- ・燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・部品交換は、純正部品を使用してください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

安全にお使いいただくために

2分割刈払機の作業に係る事項

警告



禁止

- 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。
- 動作中に刈刃や回転部分に顔や手足を近付けないでください。
- ご使用時は、使用者から15m内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 急傾斜地では使用しないでください。
- 機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。
- エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。



指示

- 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。
- 長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
- 万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
- 本機を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。
- 適切な時期に休憩をとってください。
- 石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。
- 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- キックバックに注意してください。
- 持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、刈刃が完全に止まってから、刈刃にカバーをつけてください。



注意

- 弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- 燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れしないでください。
- 燃料タンクに4ストローク用オイルを入れしないでください。



安全ラベル

本製品の本体、アタッチメントに下記の安全に関するシールが貼付けされています。

ご使用前にご確認ください。

なお、シール内容は製品改良など諸条件により予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。



防護メガネ、耳栓、マスクを
着用してください。



常に保護手袋を着用してください。



すべり止めがついている安全靴を
着用してください。



ご使用前に取扱説明書を
よく読んでください。



刃刃の取扱に十分ご注意ください。



作業者は、傍観者や動物を15メートル
以内に近付けないでください。
同じ作業領域で作業している場合は、
安全な距離を維持してください。
お互いから少なくとも15メートルです。



飛び跳ねにご注意ください。



火気を近づけないでください。



不注意または不適切な使用で
怪我をする恐れがあります。



騒音レベル 114デシベル



火気を近づけないでください。



使用中及び使用後はマフラー周囲が
高温になります。
絶対に触れないでください。



ガソリンとオイルの混合比：25：1を
使用してください。

主要諸元

モデル名	HG-BC260
始動方式	リコイルスターター
燃料	混合燃料 25:1
燃料タンク容量	600ml
エンジン	25.4cc/2ストローク空冷エンジン
3軸合成値	8.0m/s ² K=1.5m/s ²
センターボルトサイズ	M10×1.25
刃受け金具サイズ	Ø25.4mm
サイズ	L1720（ギヤケース中心まで）×W630（ハンドル含む）×H260mm
本体重量	6kg

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

振動障害の防止

●1日の使用時間について

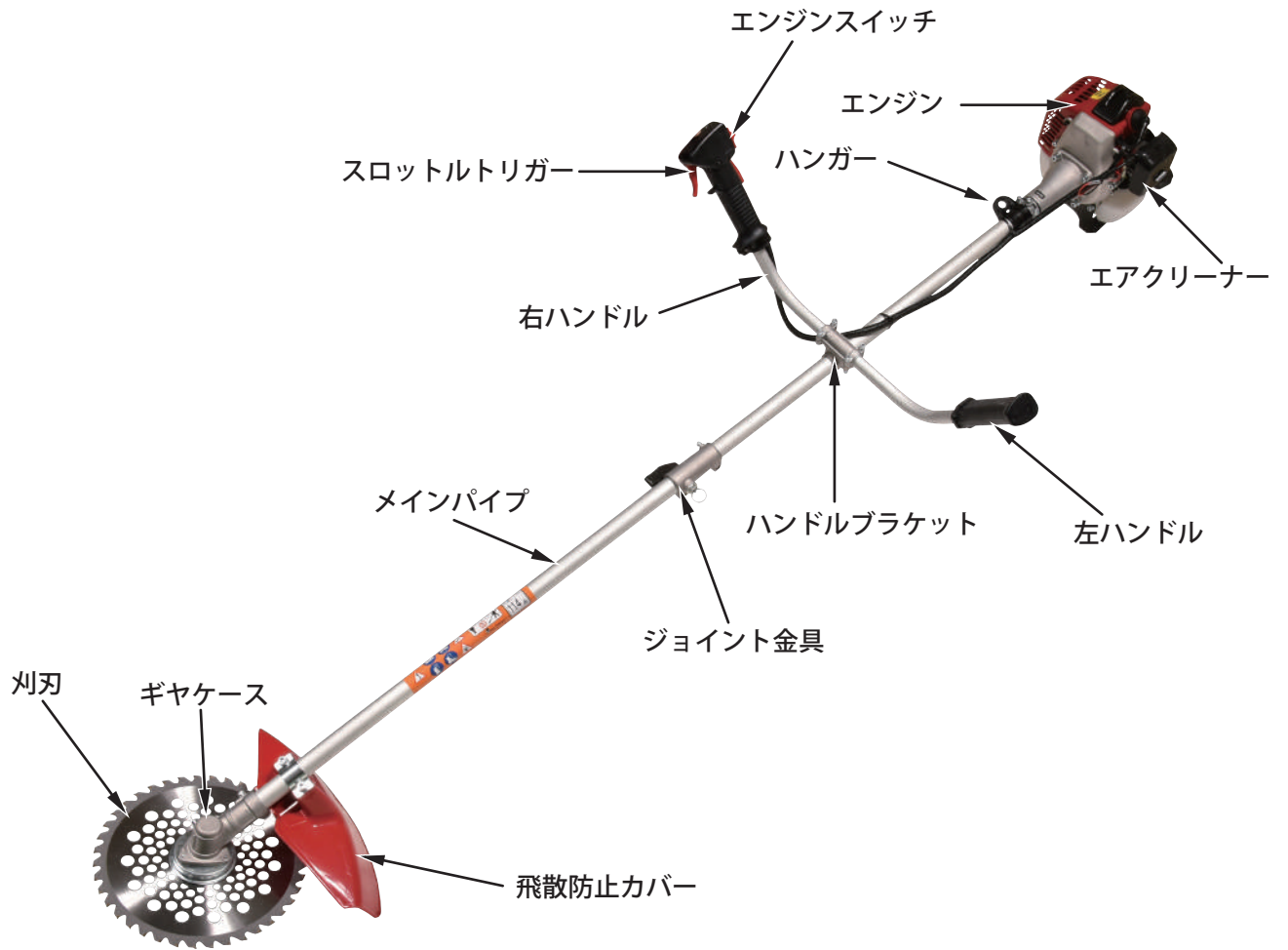
1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

①10m/s ² より小さい場合		②10m/s ² より大きい場合	
1回の連続作業時間	10分以内	1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内	1日の作業時間	T: 1日の最大作業時間 T=200 ÷ (a×a) a: 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値(m/s ²)

●製造時の振動レベル維持のため

- ・定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

各部の名称



梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、試用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. 刈刃</p>  <p>外径 $\varnothing 255\text{mm} \times 40\text{P}$ センター穴径 $\varnothing 25.4\text{mm}$</p>	<p>C. 肩掛けストラップ</p> 
<p>D. メインパイプ</p> 	<p>G. 混合タンク</p> 	<p>H. 工具</p> 
<p>E. 左ハンドル</p> 	<p>F. 飛散防止カバー</p> 	

組立て

警告

- ・組立を行う時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。

ハンドルの取付け



このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg-bc260n.html>

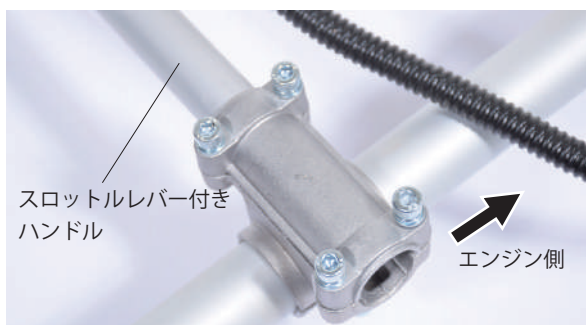
スロットルレバーが右側になるように、左右のハンドルをメインパイプに取付けます。

■使用工具：六角レンチ

- 1 ハンドル取付け金具の4本の取付けボルトを緩め、ハンドルブラケットを緩めます。



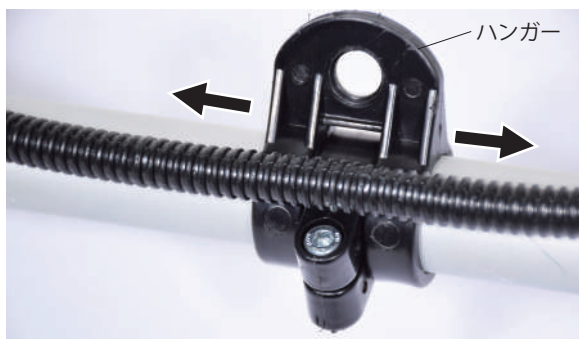
- 2 ハンドル取付け金具に、スロットルレバーが付いているハンドルが右側、もう一つのハンドルを左側に挿入します。



- 3 ハンドルを使いやすい角度に調整し、4本の取付けボルトを均等に締め、ハンドルを確実に取り付けます。



- 4 付属の六角レンチでハンガーを緩め、ハンガーを使いやすい位置に合わせて締めます。



- 5 付属の結束バンドでワイヤ類を固定します。



組立て

警告

- ・ 刃刃を取り付ける時は、必ずエンジンを停止してください。
- ・ 刃刃にひび割れ、変形がないことを確認後、取付けてください。
- ・ 刃刃の取付けは、手袋着用の上、行ってください。
- ・ 取付け後、刃刃にがたつきがなく、中心の丸穴にずれが無いことを確認してください。
- ・ エンジンをかけた際、振動が大きい場合は、偏芯の可能性があります。そのまま使用されますと、重大な事故や故障につながります。刃刃は確実に取付けてください。

刃刃の取付け

刃刃を取付けます。

■使用工具：六角レンチ、ボックスレンチ

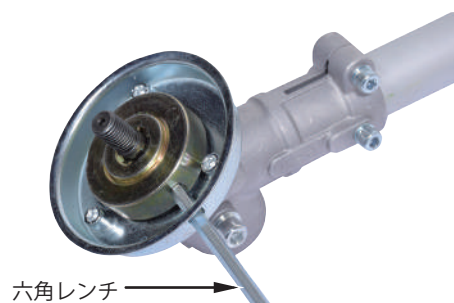
- 1** ギヤケースが上に向くように本体を置きます。



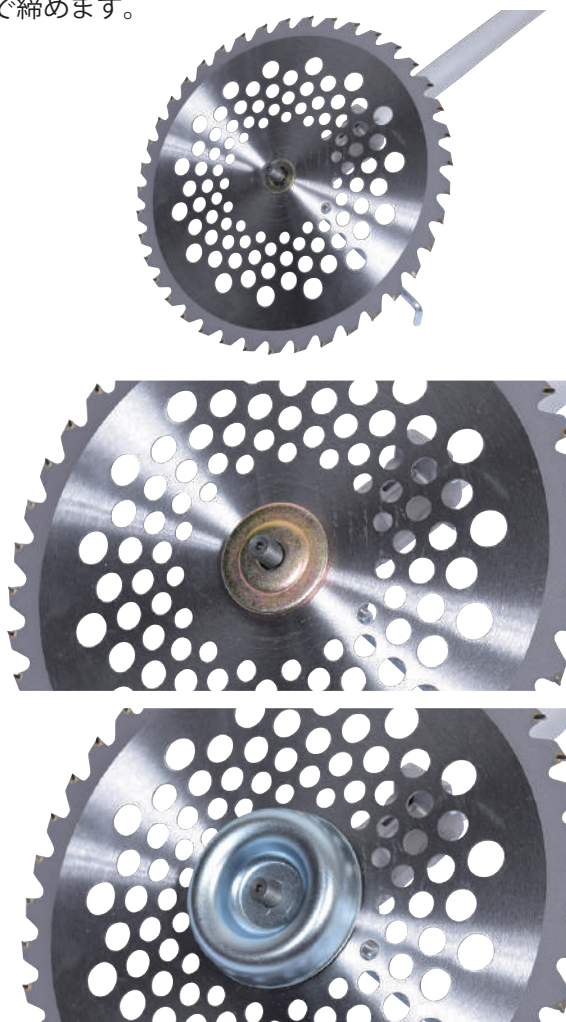
- 2** ギヤケースの穴に六角レンチを差し込み固定し、ボックスレンチで取付けナットを時計回りに回して刃押さえ金具、ナットカバーを取外します。



- 3** 六角レンチをギヤケースの穴に差し込みます。



- 4** 刃受け金具の凸部分に、刃刃の穴がずれないように、刃の向きに注意して置き、刃押さえ金具、ナットカバーの順で置いて、取付けナットで締めます。



組立て

- 5** ギヤケースの穴に差込んだ六角レンチを押さえ回転を止めながら、ボックスレンチで取付けナットをしっかりと締めます。



注) 刃の向きは写真のようにしてください。



飛散防止カバーの取付け

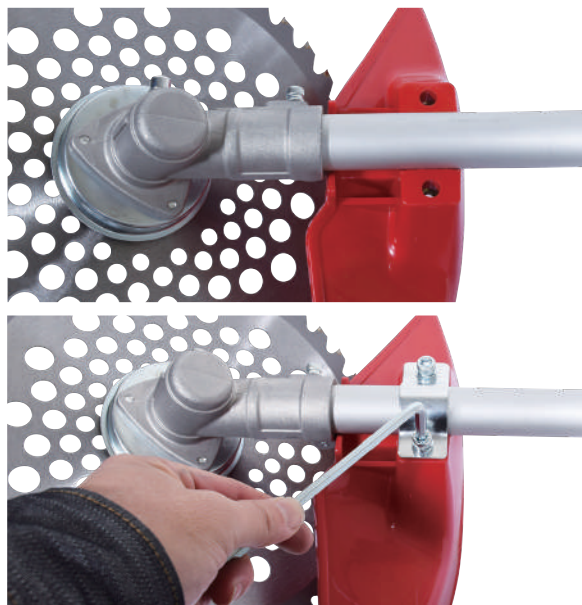
メインパイプAに飛散防止カバーを取付けます。

■使用工具：六角レンチ

- 1** 飛散防止カバーに仮止めされている、取付けボルト、カバーホルダを外します。



- 2** 飛散防止カバーの凹み部分をパイプにはめ込み、カバーホルダで挟み込むように取付けボルトを上部カバーホルダから通し、飛散防止カバーを確実にメインパイプに取付けます。



メインパイプの接続

メインパイプを本体パイプと接続します。
※パイプ内のシャフトには、パイプを接続する度にグリスを塗布してください。

- 1** ノブナットを緩め、メインパイプのロック穴と本体パイプのロックピンの穴の位置を合わせます。



- 2** ロックピンを引っ張りながらメインパイプが本体パイプに突き当たるまで挿込み、ロックピンがメインパイプの穴に入ったら指を放します。確実に接続されたかメインパイプを引っ張り確認します。



組立て

- 3 ノブナットを締め付けます。



ワンポイント

メインパイプが入らない場合

メインパイプを挿込む際に中にシャフトがあります。多角形になっているものが本体側とメインパイプ側にそれぞれメス側と押す側があり、それがしっかりはまる様に一度突き当たった後に左右に回します。(下記写真○部分)
しっかりかみ合えばそこから更に奥に入ります。



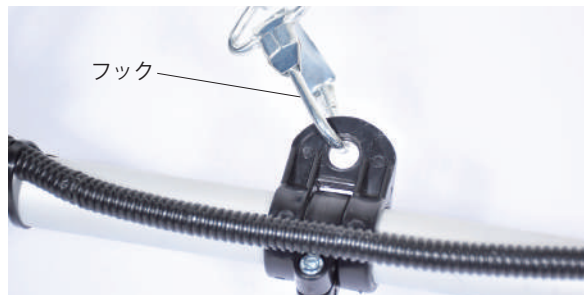
メインパイプの取外し

- 1 ノブナットを緩めます。
- 2 ロックピンを引きながらメインパイプを引き抜きます。(抜いた際にシャフトが連結したままの状態の場合は、P.21をご覧ください。)

肩掛けストラップの取付け

肩掛けストラップを本体のハンガーに取付けます。

- 1 肩掛けストラップのフックをメインパイプのハンガーにかけます。



- 2 エンジンが体の右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



- 3 刈刃の高さが、地面から10cm位になるようにストラップの長さを調整します。



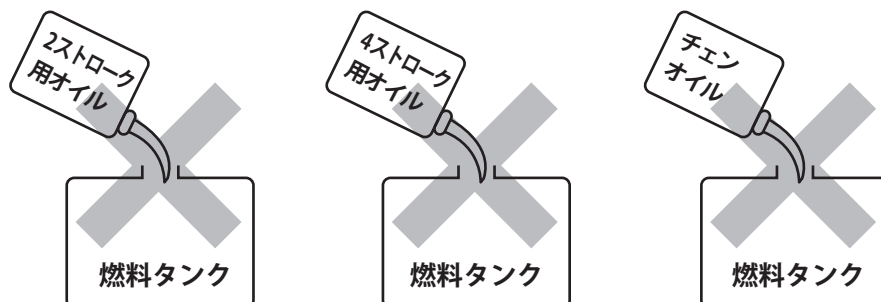
運転前の点検

警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

注意

- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけを入れしないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイル、チェンオイルを入れしないでください。



混合燃料 25:1 の作り方

市販の25：1～50：1というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。

エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

- 1 無鉛レギュラーガソリン
・2ストローク用オイル JASO FC 級以上
・漏斗(じょうご)
・混合タンク(付属)
を準備します。
- 2 混合タンクを25：1と表示されてる向きにします。
- 3 左にオイル、右にガソリンを入れます。オイルを“5”の位置まで入れた場合、ガソリンも“5”まで入れます。

- 4 混合タンクのキャップをしっかりと締め、混合タンクを振り、カクハンします。



運転前の点検

燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。

■燃料の給油

- 1 潤滑油混合ガソリン (25:1) を準備します。P.13 参照
- 2 燃料キャップ面を上にして開けます。



- 3 潤滑油混合ガソリン (25:1) を、少しずつこぼさないよう漏斗 (じょうご) 等を使い給油します。
- 4 給油が終わったら燃料キャップをしっかりと締めます。

刃の点検・交換

刃の状態を点検し、不具合がある場合は新しい刃に交換します。

⚠ 警告

- 刃を取付ける時は、必ずエンジンを停止してください。
- 刃の交換は、手袋着用の上、行ってください。

- 1 刃のゆるみ、ひび割れ、曲がり、欠け、摩耗が無い点検します。
不具合がある場合は、新しい刃に交換してください。取付方法は、P.11参照

運転操作の仕方

警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。



指示

- ・エンジン始動時、刃が回り始めることがあるので、刃が地面等に触れていないことを確認してください。
- ・必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。

注意

- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。



このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg-bc260n.html>

エンジンのかけ方



※トリガー固定ボタンは基本的に使用しません。エンジンが始動しない時、刃を外してスロットルを開いて始動する時のみの点検用として使用します。また、トリガー固定ボタンを押した状態では、エンジン全開にはなりませんので、刈払作業に使用することはできません。

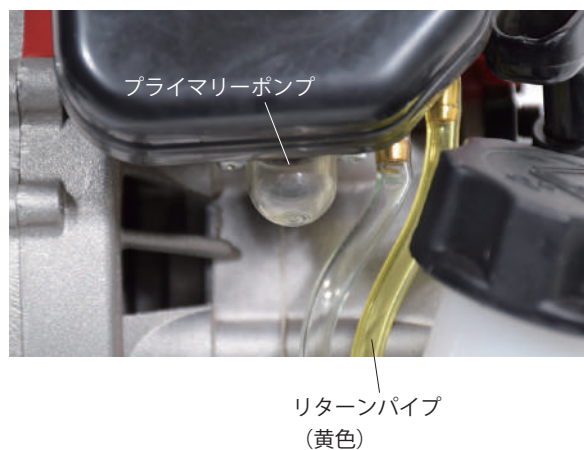
- 1 エンジンスイッチをONにします。



- 2 セーフティボタンを握りながらアクセルトリガーを握ります。

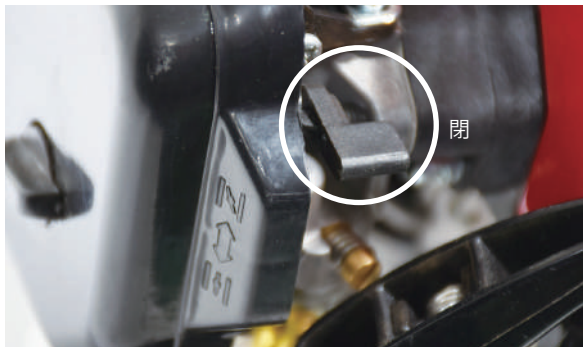


- 3 プライマリーポンプを繰り返し押します。(5回前後)
リターンパイプに燃料が流れることを確認します。



運転操作の仕方

- 4** チョークレバーを「閉」にします。(エンジンが冷えている場合、または燃料を給油した場合)



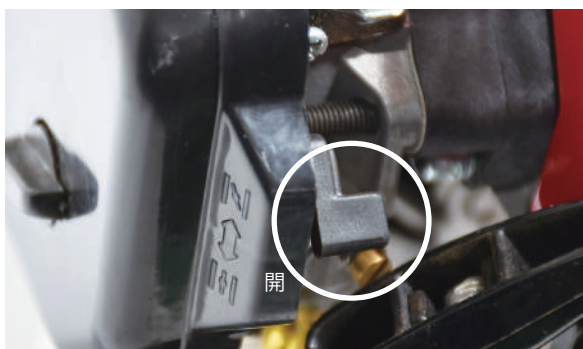
- 5** リコイルスターターロープを引きます。
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。(ロープは一杯に引ききらないでください。引いたリコイルスターターを途中で放さないで、ゆっくり戻してください。)



ワンポイント

この時、初爆が一回だけ「ブルンッ」と起こります。一回だけなので聞き逃さないようにしてください。ここで聞き逃して何度もチョークを閉じたままリコイルスターターロープを引くと、プラグを濡らしてしまいます。特に注意が必要です。万が一、濡らしてしまった場合は、P.24をご覧ください。

- 6** 初爆の確認ができればチョークを「開」にします。



- 7** 再度リコイルスターターロープを引きます。

- 8** エンジンが始動したら1~2分程度暖気運転をします。この時、刈刃が回転する場合は、アイドルリングの調整を行ってください。P.20参照

- 9** エンジンの回転数が安定し、低速から高速回転にしたときに滑らかに加速するようになれば暖機運転完了です。

セーフティボタンを押した状態でアクセルトリガーを引くとエンジン回転が速くなります。



エンジンの止め方

- 1** スロットルトリガーより手を離し、低速運転にします。



- 2** エンジンスイッチをOFFにします。



刈払作業の仕方

警告



禁止

- ・身体の調子が悪い時は、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・動作中に刈刃や回転部分に顔や手足を近づけないでください。
- ・ご使用時は、使用者から15m内は危険です。人や動物がはいらないようにしてください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- ・作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、刈刃に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
- ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- ・作業中、先端部分をひざの高さより上に上げないでください。



指示

- ・適切な時期に休憩をとってください。
- ・石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。
- ・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- ・キックバックに注意してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、ハンドルを持って運搬してください。
- ・肩掛けバンドに本体を吊り下げ、しっかりハンドルを握って操作してください。
- ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- ・急傾斜地では使用しないでください。



このQRコードを読み取ることで、「刈払作業の仕方」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg-bc260n.html>

作業手順

- 1 作業場所の石や空き缶、木片、障害物を取除きます。
- 2 エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



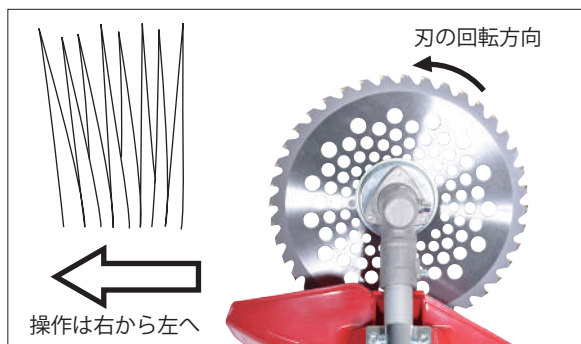
- 3 刈刃の高さが地面から10cm位になるように肩掛けバンドの長さを調整します。



- 4 ハンドルの握りを緩めたときでも、刈刃の地面からの高さが大きく変化しないことを確かめます。

- 5 エンジンを始動します。P.16参照

- 6 右から左に振るように作業を行います。その際、パイプを振り回すのではなく、腰の移動で、刈刃が水平に右から左に弧を描くように行います。左から右へ動かすとキックバックにより危険です。



- 7 エンジンの回転数は、草の抵抗に合わせて、調整してください。回転速度が高すぎると刈刃の摩耗が早くなります。

点検整備・清掃の仕方

警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取り付けたことを確認してください。



このQRコードを読み取ることで、「点検整備・清掃の仕方」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg-bc260n.html>

エアクリーナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどいときはよく洗います。

- 1 エアクリーナーカバー取付けバックルを緩め、カバーを取外します。



- 2 エアフィルタの汚れがひどい場合は、灯油で丁寧に洗い、よく乾燥させます。
- 3 取外しと反対の手順で取付けます。

点火プラグの点検

スパークプラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

- 1 プラグカバーを外し、付属のプラグレンチで、スパークプラグを取外します。
※カバーを外す際、左右にグリグリ回しながら引き抜くことで簡単に外すことができます。



- 2 電極の周辺に、オイルや堆積物が付着している場合は清掃します。
- 3 電極間隔は0.6mm～0.7mmになるように調整します。

隙間は
0.6mm～0.7mmが
適切です。



適応点火プラグ	NGK	BPM7A
---------	-----	-------

- 4 取外しと反対の手順で取付けます。
※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとめつけてください。はめ込みがあまいと点火しません。

点検整備・清掃の仕方

⚠ 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

ギヤケース

25時間毎に、グリス（耐熱用リチウム系グリス）の補充を行います。

- 1 グリス注入ボルトを外します。



- 2 ネジ穴から、新しいグリスを充填します。



刃刃

刃刃のひび割れ、曲がり、摩耗、欠けなどの異常がないか点検し、異常があるときは新品と交換します。

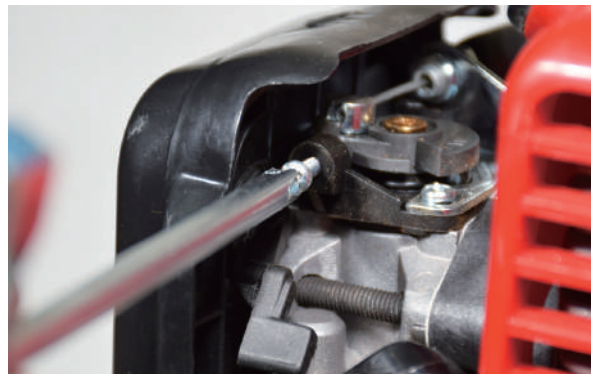
アイドリングの調整

エンジン始動時に刃刃が回転したり、スロットルレバーを低速側に戻し、アイドリング状態にしても刃刃が回転する場合は、アイドリング調整を行います。

- 1 アイドリング調整は、付属のプラグレンチのドライバーで調整スクリュを回してください。



- 2 アイドリング時に調整スクリュを反時計回りに回すと、回転が下がり刃刃が回転しなくなります。調整スクリュを時計回りに回すと回転数が上がります。



🔧 ワンポイント

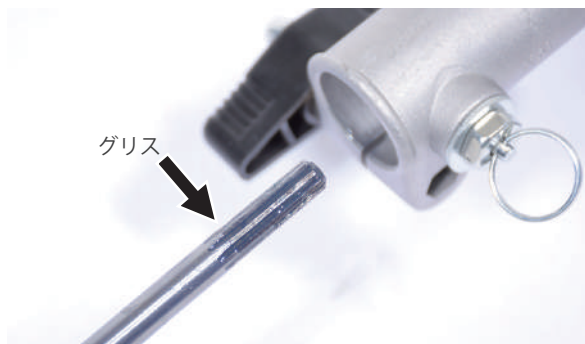
調整していくうちに、どれだけ回したかがわからなくなることがあります。その場合は、一旦右へ全閉に回し、そこから一回転半左に回した位置が出荷時の基本位置となります。

点検整備・清掃の仕方

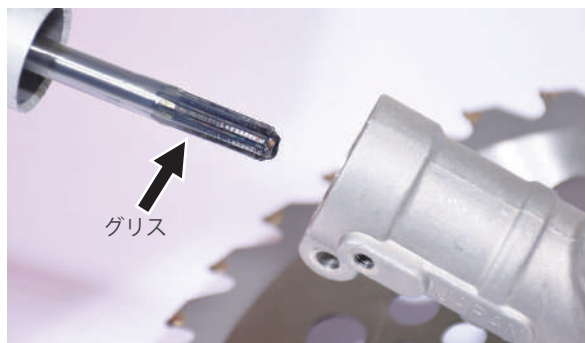
シャフト

連結する前にグリス（耐熱用リチウム系グリス）の補充を行います。

- 1** 本体側のシャフト全体にグリスを補充します。



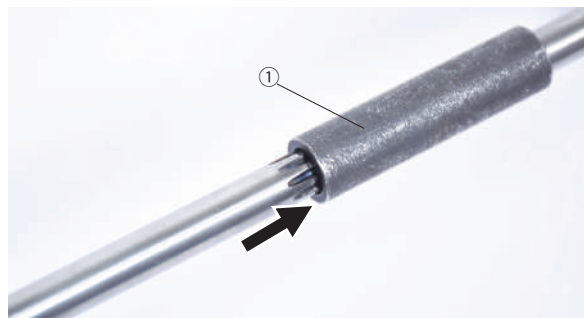
- 2** メインパイプ側のシャフト全体にグリスを補充します。



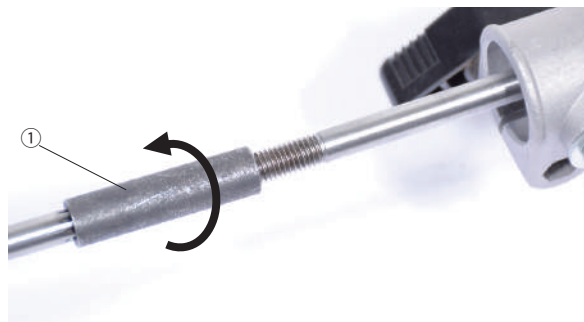
- 3** メインパイプを本体から引き抜く際、シャフト同士が連結されたままの状態になる場合があります。



- 4** ①の端部を本体側に軽くハンマー等でたたくと抜けます。



- 5** それでも抜けない場合は、①を回すと本体側のシャフトと分離しますので、その後、「4」の手順を行います。



コネクタ

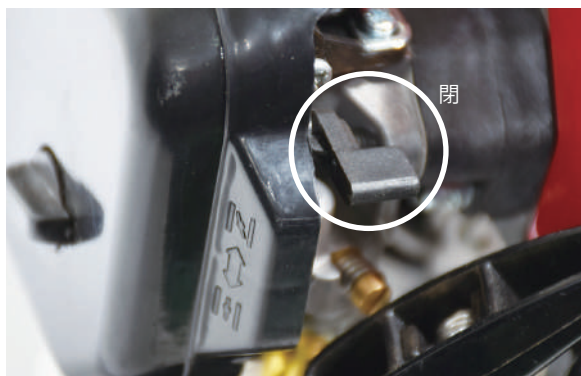
コネクタの抜けや緩みを確認します。



長期間使用しない時

●本機を2週間以上使用しない時

- 1 燃料タンクから燃料を抜きます。
- 2 エンジンをかけ、燃料切れで停止するまでアイドリングで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1か月以内に使い切ってください。（燃料は使う前によくカクハンしてから使用してください。）
- 3 エンジンスイッチをOFFにしてください。
- 4 チョークを閉じます。



- 5 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 6 メインパイプにキャップをしてください。



- 7 刈刃カバーを装着し、湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。



故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	始動スイッチボタンの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
	点火プラグ不良	交換
	点火プラグキャップ接続不良	点火プラグをしっかりとめる
	イグニッションコイルの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
キャブレターに燃料が来ていない	燃料がはいついていない	燃料を入れる
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり（ニードル・バルブ固着）	キャブレター分解掃除 メーカー、購入店に問い合わせ
	コネクタが抜けている・しっかりとまっていない	しっかりと挿込む（P.21）

●エンジンはかかるが、回転があがらない

	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換
	キャブレターの調整不良	調整（P.20）

●燃料やオイルが漏れる

燃料やオイルがキャップから漏れる	ゴムパッキンが変形、または硬化	パッキンを外して、再度付け直す又は交換
	プライマリーポンプ、燃料ホースの摩耗	交換

●エンジンが始動しない原因の多くは？

初爆を聞き逃し、チョークを引いたまま、何度もリコイルスターターロープを引くことで燃料が行き過ぎてしまう。いわゆる「かぶり」状態による始動不良が多くの原因です。

1 プラグを外す ※プラグキャップを外し、付属プラグレンチでプラグを外してください。（反時計回り）

2 プラグの先端が燃料で濡れているので布等で拭く

3 リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認
※燃料がプラグ穴から出て来たら、出なくなるまでよく拭き取ってください。

4 プラグを取り付ける
※付属プラグレンチでプラグ取付け、プラグキャップをしっかりとめ込んでください。

5 チョークを「開」にし、リコイルスターターロープを引く
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引いてください。

故障と思ったら

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

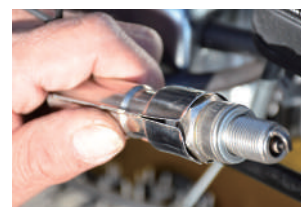
先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチを入れます。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない





プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

エンジンオイル不足かプラグの不良が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品一覧・ご注文

商品名	商品コード		価格(税抜)	注文個数
飛散防止カバー	hg-ctcv1n		1,100 円	
リコイルスタート アッセンブリ	260e-p02n		1,500 円	
キャブレター	260e-p28n		2,400 円	
イグニッションコイル	260e-p27n		1,100 円	
左ハンドル アッセンブリ	260-p7-lhan		800 円	
右ハンドル アッセンブリ	260-p7-rhan		2,000 円	
ハンドルブラケット	260-p7-hspn		1,000 円	
ジョイント金具	260-p3-6n		1,600 円	
シャフトサポート	260-p2-5n		600 円	
ナットカバー	260-p6-16n	 締付ナット ← ナットカバー	380 円	
締付ナット	260-p6-15n		300 円	
ナイロンコード カッター	230256n		980 円	
ナイロンコード 2.2mm 角	232198n		223 円	

消耗品・関連品一覧・ご注文

商品名		商品コード		価格(税抜)	注文個数
チップソー	外径 255mm ×40 刃	l255p40n		600 円	
	外径 255mm ×40 刃	204k280sn		2,300 円	
	外径 255mm ×40 刃	204k305sn		2,760 円	
作業用エプロン	M サイズ	ht-wapron-mn		1,800 円	
	L サイズ	ht-wapron-ln		1,800 円	
防振手袋	フリーサイズ 指先あり	ht-g01n		1,000 円	
	フリーサイズ 指先なし	ht-g02n		1,000 円	
ガーデンスパイク		233-260587n		3,150 円	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

※価格は改定される場合があります。

※電話・FAXでのご注文は、代金引換での販売となります。※別途送料がかかります。

代金引換手数料	
10,000 円未満	324 円
10,000 円～ 30,000 円(税別)のご注文	432 円

送料	
10,000 円以上(税別)のご注文	無料
10,000 円未満(税別)のご注文	一律 800 円

★FAX でのご注文の場合は、上部表右の注文個数を記入し、下記に必要事項をご記入の上送信してください。

FAX.0276-55-2276

記入日 令和 年 月 日

お客様情報			
フリガナ			
氏名 会社名	様		
ご住所 お届け先	〒	—	
電話番号		FAX 番号	

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
 - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
 - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑥送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
 - ③故障内容の確認
 - ④故障装置の修理
- *1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先
ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>
ハイガー産業お問い合わせ

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト ▶ <http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト ▶ <http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト ▶ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日
無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



ハイガー産業 株式会社

〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

重要なお問い合わせ

0276-55-2275

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が続いております。ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。
お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00 第1・第3・第5土曜日 10:00～12:00
受付中止：平日 12:00～13:00 ©定休日：第2・第4土曜日、日曜日、祝祭日